

香南市消防庁舎大解剖!

新しくなった香南市消防庁舎、どんなところが変わったの?

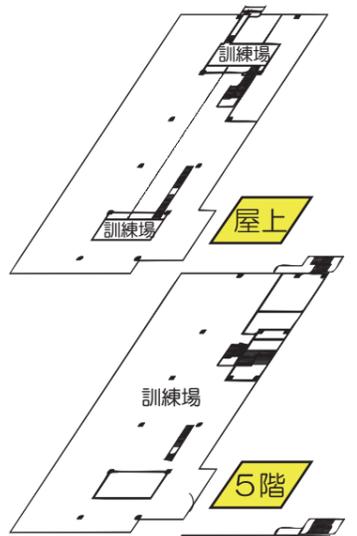
119番通報者の通報位置を瞬時に特定できる「発信地表示システム」や、出動部隊を自動的に編成する「自動出場指定装置」など最新設備を導入した通信指令室があります。この最新システムにより、火災や救急、救助の際に迅速かつ的確に対応することができるようになりました。

中でも「発信地表示システム」は、今まで通報をした際に、場所を細かく説明する必要がありました。電話をかけたその時から通報者の位置が把握できるので、通報者の負担が減るだけでなく、出動態勢もスムーズになりました。

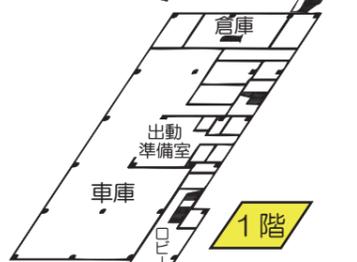
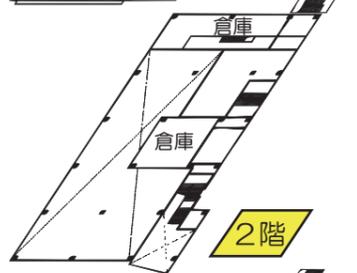
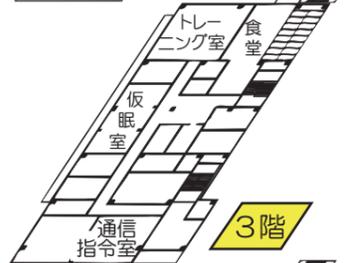


▲最新システムが導入されている通信指令室(3階)

高性能消防指令システム



さまざまな訓練設備



- 鉄骨づくり5階建て
- 延べ床面積 約2,770㎡
- 震度7にも対応の耐震構造

避難施設としての機能

庁舎の一番上の部分に2棟、多種多様な災害に対応できるように、救助や災害の対応訓練を行う施設があります。

この施設は、自主防災組織等が行う基本的な訓練から、消防団員や消防職員が行う特殊な訓練まで行えるよう、工夫を凝らした設備になっています。

大規模災害時に指揮本部となる災害対策室を3階に新設。4階には、消防本部の事務室と会議や救命講習、各種防災講習などを行うことができる会議室があります。この会議室と3階にあるトレーニング室は、災害が発生し避難場所となった場合に使用する部屋としても想定されています。

完成 香南市消防庁舎



▲完成した香南市消防庁舎

香南市の防災拠点へ

以前の消防庁舎は、築40年を超え、老朽化による耐震性の問題と救助活動等で使用する装備品や資機材の収納スペースが確保できないなどの問題がありました。特に大規模災害時には、指揮本部としての機能が重要になることから、平成18年度より「香南市消防庁舎建設検討委員会」を立ち上げ、検討を重ねてきました。平成22年12月より旧庁舎敷地に建設していた新庁舎は、3月2日に建て替え工事が終わり、同月22日より新庁舎での業務を開始。119番通報者の所在が特定できる指令システムや隊員の意見を反映させた、より実践的な訓練ができる施設も充実しています。

また、有事には避難所として兼用できる会議室や備蓄庫を備えるなど、頼れる防災拠点施設となっています。

香南市消防庁舎の落成式が4月21日(土)に行われました。当日は、式典のほか訓練の公開演習や施設の見学なども行われ、関係者など訪れた多くの人が防災の拠点となる消防庁舎の落成を祝いました。



- 1 消防庁舎落成式典
- 2 落成式での庁舎内見学
- 3 落成を祝って行われた、もち投げには、多くの人が集まりました
- 4



- 1 降下訓練
- 2 渡過訓練
- 3 引き上げ救助訓練
- 4 5 災害時には避難場所としても使用できる大会議室とトレーニングルーム